まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

第 653 号
平成 30 年 2 月号付録

←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

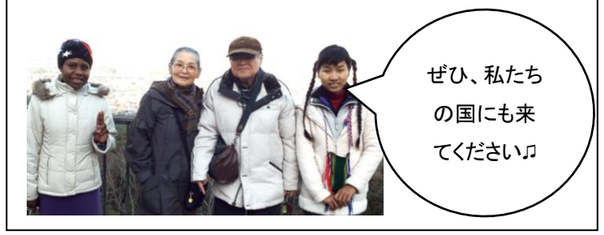
三社参り

1月5日、研修センター新年初日に恒例の三社参りに研修生全員と訪れました。博多の住吉神社、護国神社、地元脇山の横山神社に参拝。研修生にも手水舎での作法から参拝の作法を教え、今年1年の祈願をしました。それぞれどんな願いを掛けたのかは不明ですが、きっと帰国後の活動についての願掛けをしたのではと思います。それぞれの神社では多くの企業の方々も参拝されており、日本の風習の一場面を体験出来ました。今年もより良い年になりますように。（廣瀬）

護国神社にて→

年末年始のホームステイ

皆様お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？
研修生19名は、12月30日～1月2日の間、ホームステイをさせて頂きました。除夜の鐘をつきに連れて行ってもらったり、初日の出を見に行ったり、美味しいお節料理を頂いたりと、たくさんの経験をさせて頂きました。彼らにとって一生忘れられないお正月になりました。お忙しい中、受け入れして下さった8ファミリーの皆様、本当にありがとうございました。次回はお盆です。新ホストファミリー募集中です！！（榮）



九州電力様ワンコイン贈呈式

1月15日、九州電力の社員約 5,000 名の方々からのオイスカ支援の一環としてワンコイン贈呈式にて265万円の寄付を頂きました。当日は、九州電力の田中徹部長（ビジネスソリューション統括本部地域共生本部総務部長）が研修センターにお越し頂き、研修生へ「残り少ない研修期間を有意義に過ごし、帰国後は農業を通して日本と母国の懸け橋になって頂きたい」とエールを頂きました。今年で6回目となるワンコインサポートプログラムですが、九州電力様を始め、多くの方々よりご賛同を頂いております。このプログラムで頂いた寄付は海外研修生育成の資金として大切に活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。（廣瀬）

2月の予定

8日（木）東洋ナビックス様職場体験で来所
10日（土）脇山地区ソフトボール大会
14日（水）造園研修(野村造園)
15日（木）オイスカ西日本研修センター50歳の誕生日
17日（土）第10回 We love オイスカゴルフコンペ
21日（水)脇山小学校交流会／アクションプラン発表会
22日（木）アクションプラン発表会
24日（金）海外研修生研修修了式（10：30～）
27日（火)早良小学校交流会
28日（水）九州国立博物館見学

お米の販売のご案内

研修生も毎日モリモリ食べていますが、是非！みなさまにもお試しいただければと考えております。
昭和3年の昭和天皇陛下御即位の際に献上米として選ばれた主基祭田があるこの脇山地区で栽培したお米です。是非この機会にお試しくださいませ。（量に限りがありますので、不足の場合はご了承くださいませ。）
【販売・ご注文方法】
・品種：げんきつくし、ひのひかり（減農薬）
・価格：400円／1kg（白米）
　※ご注文は5kgから受付いたします。
　※配送が必要な場合は、別途配送料がかかります。（宅急便等を使用）
・注文方法：オイスカ西日本研修センターまでご連絡くださいませ。（担当：立石）

ご協力ありがとうございます！

（平成30年1月1日～1月25日、敬称略）

新入会：川端幸夫
寄付金：（株）ふくや、松原勉、（株）戸上電機製作所、学童保育スイミー、九州電力（株）、（株）正興グループ従業員一同正興電機労働組合、JR 九州鉄道営業（株）

寄付品：（株）タカモト福岡支店、福岡リバティライオンズクラブ、鈴木喜也、西村征子

鬼木大明神　今月の一句

人にほめられる人よりも、人をほめることができる人になろう！小さなことをほめよう。

同じことでも何度でもほめよう。

「自分だけが」と思わず、「相手が

体験農園便り

昨年の12月23日（土）に体験農園の参加者や関係者の方に案内をして、年末恒例のもちつき大会を開催しました。当日の参加者は100名ほどありましたが、つきたてのおもちをきな粉や大根おろしにからめたおもちを食べた時の感想が、皆さん「こげなやわらかくて美味しいもちを食べたのは初めて」と言ってくれます。参加者の中には、「このおもちを食べたくて毎年参加しています」と、体験農園を辞めた人でもわざわざ足を運んでくるのです。そのオイスカ餅の美味しさの秘密はもち米の品種にあり、その品種の名前は「みどり米」といって黒い穂が出る古代米の一種なのです。そしてもちろん米どころである脇山で栽培していることも、研修生が一生懸命つきあげる事も、美味しさの秘訣となっています。この記事を読まれている方で、まだオイスカのお餅を食べていないという方には、今年の年末是非「餅つき大会」に参加頂けたら嬉しいです。（豊田）

朝倉復興支援　農業ボランティア

被災地復興支援ボランティアとして今年初めての取り組みが1月19日に行われ海外の研修生とフリースクール玄海の生徒共同で朝倉市杷木町のいちじく農家の畑で作業を行いました。当日は天候にも恵まれ、畑の中に張ってあるネットの中に入り、腰を屈めスコップと一輪車を使って溜まった泥を袋に入れて土嚢にし、運び出す作業を行ったり、被災地上流の山間部の柿畑で農家のみなさんと一緒に収穫のお手伝いもさせていただきました。これからも引き続き支援活動を行ってまいります。（満川）

脇山地区ほんげんぎょう

１月８日（月）の成人式の日、地元脇山にある中央公園で、新年恒例の「ほんげんぎょう」（一般的に言われるどんど焼き）が盛大に開催されました。研修生全員、新年のあいさつも兼ねて参加してきましたが、高さ5メートル以上ある竹で組み上げられた大きな円すい形の山に、各家庭で飾られた正月飾りが置かれ、その大きな山が燃え上がる姿はとても豪快で神秘的な雰囲気がありました。研修生も初めて見る大きな火の手に歓声をあげながら写真をたくさん撮っていました。ある程度竹が燃えた後に、防災訓練という事で地元脇山消防団の消火訓練の見学や、簡単な防災講習を受けました。また、炊き出しの訓練という事で女性部の方が味噌汁を振舞うなど、非常時に備えて訓練をする地元の方の取り組みに、研修生もとても感心していました。（豊田）

フリースクール玄海宿泊研修

フリースクール玄海より5名の生徒が1月15日より4泊5日で西日本研修センターの農業体験をしました。海外の研修生達と寝食を共にしながら農業実習を通して作物の育て方や出荷までの準備作業を学びました。また更には海外研修にも参加をして語学などを覚えようと毎年チャレンジして頑張っています。（満川）

技能研修生4名（株）オークマ配属

昨年の10月に入国したインドネシアの技能実習生4名(家具製造)が1月15日に朝倉市にある（株）オークマに配属となりました。仲の良い4人組で日本語授業などもいつも賑やかに楽しそうに行っていました。センターでもムードメーカー的な存在になりつつありましたのでセンターも少し静かになりますし、寂しくもあります。オークマ様では、オイスカからの技能実習生受入れは初めてとなりますが、以前にも他の実習生の受入れ経験もあり安心して送り出すことができます。それでも会社として初めてのインドネシア人実習生とあって不安もあり楽しみもありといった様子でした。
彼らのこれからの頑張りに期待します。（彦坂）

短期外部研修

今年度の研修プログラムも残り1ヵ月余りとなりましたが、現在研修生は帰国前のアクションプランの発表に向けて、その作成に取り組んでいます。そのような中で、研修生からの希望に応じて研修センターでは勉強ができない分野について、1週間の短期外部研修に出る機会を設けています。今回は農業機械や種苗会社での研修、またブロイラー養鶏の見学などが組まれていますが、研修センターでは味わえない体験をすることが出来るので、研修生にとっても非常に有意義な内容となっています。研修生は、帰国後農業を中心としたそれぞれの分野、立場で活躍していく予定ですが、日本での経験がひとつでも多く活かされるように、残りわずかな時間を大切にしながら研修に取り組んでいきます。（豊田）

ハートフィールドさかもと様で農業機械の研修を受けたナラさん→

世界の絵本の読み聞かせ

１月13日、高取公民館で開催された「世界の絵本の読み聞かせ」に、カンボジアのチョムさんとミャンマーのスイさんが講師として参加してきました。これは、それぞれの国の絵本をその国の言葉のまま読み、子どもたちに絵や言葉の音を楽しんでもらうという国際交流の会です。研修生が講師として何回か参加していますが、今回が一番参加人数が多く、高取地区の子ども、保護者が60人程集まってくださりました。真剣に絵本を見た後は、たくさんの質問が飛び交い、なかなかない機会を存分に楽しんで頂けた様でした。（榮）

モンゴルよりダリスレンさん訪日研修

オイスカモンゴル総局が活動拠点を置いているブルガン県は、首都ウランバートルより北西に400kmほど行ったところにあります。そのブルガン県にある専門学校で、農業分野で施設園芸の教師をしているダリスレンさん（女性）が、日本における施設園芸の先端技術を習得するために、西日本研修センターを拠点として研修を行っています。1月15日に福岡に到着し、1週間研修センターで有機農業を中心とした研修を行った後、現在は長崎県諫早市にある「八江農芸株式会社」に約3週間、苗づくりや野菜の栽培技術の習得に励んでいます。昨年よりモンゴルでは、安全性が脅かされるという理由で中国からの農作物の輸入を取り止めました。これからモンゴル国内における農作物の自給率を上げていくためにも、農業分野における教育現場の充実は、非常に重要な課題となってきます。オイスカとしても今日まで多数の OB 研修生を輩出してきましたが、今後も引き続きモンゴル総局と連携を図りながら、農業の発展に貢献していきたいと考えています。（豊田）

初めての雪遊び

１月11日、研修生がずっと心待ちにしていた雪が降りました。センターでは5センチ位積雪し、午前中はセンターのグランドで遊び、午後は、山の中腹にある椎原の公園まで行って、約2時間しっかり雪遊びをしました。雪合戦をしたり、大きな雪だるまを作ったり、童心に帰って遊んでいました。寒い中での農業実習は手先の感覚がなくなるぐらい冷え切り、大変ですが、念願の雪景色を見て、思い切り遊び、最高の冬の思い出ができました。（榮）

研修生の紹介コーナー⑦

みなさんこんにちは！私は Peou Sokchom です。ニックネームは**チョム**です。**カンボジア**から参りました！農業一般コースの研修生です。趣味はサッカーです。
1月23日に28歳になりました。日本に来てもうすぐ10カ月になります。あと1ヶ月ぐらいで帰国です。楽しみですが、寂しいです。この前たくさん雪が降りました。冬の畑作業は本当に寒いです。特に収穫と販売準備（野菜を水で洗ったり･･･）は、大変です。残り少しの研修、最後まで頑張ります！！

??チョムさんに聞いてみよう☺

☆日本での一番の思い出を教えてください！
→選ぶことができません。全部･･･。農業実習はもちろんですし、日本人とたくさん交流したり、行事も全部思い出です。研修生との生活も毎日楽しいです。日本に来て最初の思い出は、桜を見たことです。とてもとてもきれいで、忘れられません。1年間ずっと心の中に残っています。
本当に日本で数えきれないぐらいの思い出ができました。帰ったら家族や友達にたくさん話します。一年間お世話になりました。ぜひカンボジアに遊びに来てください。私がご案内します♪

みなさん、こんにちは！Le Nguyen Minh Thanh です。ニックネームは**タン**です。**ベトナム**から参りました。国際ボランティアコース（2年）の研修生です。24歳です。趣味はロマンチックな小説を読むことです。私はベトナムの大学で日本語を勉強し、来日前は、日本語の先生をしていました。西日本研修センターでは、オイスカ活動全般の研修を受けています。 ベトナムにオイスカ研修センターを作ることが目標です。

??タンさんに聞いてみよう☺

☆1年目を振り返って･･･そして2年目に向けて！
→大学で日本語や日本文化の勉強はしましたが、実際に住んでみて、知らなかったことがたくさんありました。日本人の働く姿勢や、お正月の習慣がベトナムと似ていること、博多弁も。ここはいろいろな国の研修生もいるので彼らからも、伝統文化を大切にする心や、協調性、宗教のことなど学ぶことが多くあります。ここで研修できて本当にありがたいです。2年目は、目標の「オイスカベトナム研修センター設立」に向けて、オイスカの組織の勉強がもっとしたいです。
それと、日本語能力試験 N1 を取りたいです！（12月に受けた試験、N2 合格しました！）

オイスカ推進協議会ご紹介コーナー

今月は**長崎県推進協議会**のご紹介です！！

オイスカ長崎県推進協議会は、平成6年に設立したオイスカ佐世保推進協議会の平成26年定期総会において「佐世保という名を冠する会の名称では佐世保以外の近隣市区町村の人が活動に参加し難いのではないか」との意見を受け、オイスカ佐世保推進協議会を発展的に解消して誕生しました。

以後、新規の会員さんの加入や長崎県内に居住している方で、他支部に所属していた会員さんのご加入も得てオイスカ長崎県推進協議会として活動しています。

主な活動は、海外研修生やOB研修生の長崎研修にあわせ各種企業の研修やブルーベリーの収穫体験、木工作業体験、長崎県立大学の学生との交流会などを通じ、日本の進んだ技術や文化を紹介し、様々な角度から研修生に日本を理解してもらえるように支援をしています。

海外研修生にとっても、長崎での研修はいろいろな会員さんや学生と交流を深めたり、日本の先端技術を見学できるので楽しいですと、高い評価を得ています。

会員数も少なく地味な活動しか出来ておりませんが、今後も学生と海外研修生との交流を推進しながら、地域における国際交流活動に対する貢献と、オイスカが進める人材育成に対し、会員一同少しでもお役に立てるよう引き続き頑張って行きたいと思っております。

↑長崎研修で研修生に激励する山下会長

↑山下会長よりプレゼント「九十九島クルージング」

↓長崎県立大学の学生との交流会

↓会員企業である白浜工業様の塗装工場見学